

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年2月9日
【会社名】	東邦亜鉛株式会社
【英訳名】	Toho Zinc Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 手島 達也
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
【電話番号】	東京(6212)1711(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 田邊 正樹
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
【電話番号】	東京(6212)1711(代表)
【事務連絡者氏名】	経理部長 田邊 正樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 東邦亜鉛株式会社大阪支店 (大阪市西区京町堀1丁目3番13号(辰巳ビル))

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 当該事象の発生年月日

平成28年2月8日

2. 当該事象の内容

当社の連結子会社である豪州の鉱山会社（CBH Resources Ltd.）の運営するエンデバー鉱山及びラスブ鉱山に関して、可採鉱量の減少や金属相場等の市況環境の変化もあり、今後は投下資本に見合うだけの十分なキャッシュ・フローの回収が見込めないと判断したため、平成28年3月期第3四半期の連結決算において、対象資産について固定資産の減損損失を計上するものであります。

また、当社が保有する同社株式の簿価について実質価額が著しく下落したもとして、平成28年3月期第3四半期の個別決算において、関係会社株式評価損を特別損失に計上するものであります。

3. 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成28年3月期第3四半期において、下記のとおり関係会社株式評価損及び減損損失を特別損失として計上いたします。

個別

関係会社株式評価損 28,798百万円

連結

減損損失 15,173百万円

以 上